

鬼北町立広見中学校

道徳通信

道徳主任 酒井 智有

NO. 90

令和8年9月14日発行

よりよく生きる

体育祭を終えて

9月12日(土)、広見中学校グラウンドにおいて、第55回体育祭を開催しました。生徒たちの頑張りにより、体育祭は大成功に終わりました。特に、3年生がリーダーシップを発揮し、1・2年生を引っ張って、全校生徒が一致団結して全ての競技や演技ができたことが、すばらしかったなと感じました。

体育祭では、得られる道徳的価値もたくさんありました。体育祭を通して、生徒の皆さんは下記のような道徳的学びを得ることができたのではないかと思います。

- 協力することの大切さ：仲間と力を合わせ、一つの目標に向かって努力すること
- 責任感：自分の役割を最後まで果たし、集団に貢献すること
- 思いやり：苦手な人や頑張っている仲間を励まし、支え合うこと
- 公正・公平：ルールを守り、勝敗に対して公正な態度で臨み、結果を受け入れること
- 努力することの価値：結果だけでなく、練習や本番まで努力を続けること
- 相手を尊重する心：競技では競い合っても、相手の頑張りを認めること
- 感謝の心：仲間や先生、運営してくれる人など、周囲の支えに感謝すること
- 忍耐力：思うようにいなくても、最後まで諦めずに取り組むこと
- 向上心：前回の自分より成長しようと努力すること
- 自己肯定感：自分にもできることがあると気づき、自信を持つこと
- 他者理解：人それぞれに得意・不得意があり、考え方が違うことを理解すること
- 仲間意識：同じ目標に向かって活動する中で、仲間とのつながりを深めること
- 礼儀：相手への応援や挨拶、競技後の態度を大切にすること
- 自律：先生に言われなくても、自分で考えて行動できるようになること
- 奉仕の心：競技に参加するだけでなく、準備や片付けなどで周囲を支えること
- 感情のコントロール：負けて悔しくても、相手に怒りをぶつけないで気持ちを切り替えること
- 謙虚さ：勝ったときでも相手の努力を認め、えらそうな態度をしない
- 寛容さ：失敗した仲間を責めず、受け入れること
- 連帯感：一人ひとりの行動が、クラスや学年全体に影響を与えることを学ぶこと
- 達成感：努力して目標を達成する喜びを知ること
- 挑戦する心：苦手な競技や新しいことにも挑戦する勇気を持つこと



こうやって挙げていくと、体育祭からたくさんの道徳的価値を学んでいることが分かります。道徳教育は、道徳科の授業だけでなく、全教育活動を通して育まれていくものです。特に体験的な活動は、生徒の心を大きく揺さぶり、生徒の道徳性が高く養われていくものだと感じています。体育祭で得た道徳的価値を、ぜひ、今後の学校生活、家庭生活、地域での活動に生かして、生徒の皆さんにはよりよく生きることにつなげてほしいと思います。